
中小規模の市町村における
償却資産についての考え方
～7年間に渡っての事務において
感じたこと～

橋本市 総務部税務課 主査
福山 揮一 氏
同上 副主査
梶原 孔志 氏

中小規模の市町村における 償却資産についての考え方

7年間に渡っての事務において感じたこと

橋本市について

橋本市は、和歌山県の北東部に位置し、古くは高野街道として栄えましたが、昨今は人口が減少傾向で、平成22年が66,361人であるのに対して、令和2年で60,818人となっています。

市内に大規模な工業地帯が整備され、誘致企業による償却資産の取得が続いています。

私は税務課に異動をしてから最初の数か月だけ土地係で、その後は家屋と償却資産を兼任しています。令和6年度で8年目に突入しています。

難しい資料で、難しい話はいりません。

取組初期の市町村ではこんなことから進めるのかとかこんなに簡単に結果があがるんだ。と思ってもらえるように頑張ります。



償却資産 追徴額等の推移

研修参加前

- ・平成27年度
現年度20万円強
過年度0
- ・平成28年度
現年度50万円強
過年度0
- ・平成29年度
現年度100万円強
過年度4万円強

研修参加後

- ・平成30年度
現年度90万円強
過年度450万円強
- ・平成31年度
現年度290万円強
過年度490万円強
- ・令和2年度
現年度450万円強
過年度1,560万円強

原因と分析

- ・（平均）3年スパンで異動による知識のリセット
覚えたところで異動してしまう。
知識の継承が出来ない（マニュアルなどもあるだけになる）
一人で頑張っても続かない。
- ・前例踏襲という文化
良くも悪くも（おそらく）中小規模の市町村ほどこの傾向が強いので
は？新しいことに取り組もうとしても新しいことを否定されると考えると
取り組みにくい。
- ・間違っていることを訂正する、やり直すというのは面倒くさい
もともととしていたことであれば、説明がしやすい。
自分が始めたことは、説明を自分できちんとできなければならない。
日々の業務以上にやる手が回らない。

取り組むに当たって

- 今までやってきたことは間違いだと考える
…例えば、橋本市の場合、追徴額が（ほぼ）0円でした。
- 最初は難しいことはしない
…いきなり大都市（専門職等のいるところ）と同じことは無理。
- 人事評価をプラスに考える
…高ランクを目指してみましよう。
- 結局やる気
…追徴額は一人でもやる気になれば大幅Upが見込めます。

実際に何を行ったか

- 一年目
償却資産の申告書で自分なりに考えてみても、意味不明なところを事業者や税理士等に聞いてみる。
- 二年目
一年目に行ったことで、大体どんな風なところに漏れが多いのかが分かってきたので、自分なりに理由をもって聞いてみる。
- 三年目
特定のグループにおいて申告漏れが多発していることに気づいたので、二年目の作業に加えて選択と集中を行った。

動き出した際の問題点

- 最大の問題点は実は内部
前にやったことがないので、それをしたら市（町村）民からクレームがくるのではないか…？
やろうとしていることは本当に正しいのか…？
責任取りたくない！
- どうすれば良いか
関連法令を勉強しましょう。
暗記はいりません。要点をまとめたものをすぐに見られるようにすれば大丈夫です。
クレームに関しては、きっと慣れます。

実務で気を付けること

- 更正・発送の処理が手間
- 更正を繰り返すことによる概要調書に係る手間の煩雑化
- 家屋と兼務でないとする、家屋のことについても知る必要がある
- 毎年のように変わる法のチェック
- 他課との連絡調整が必要な場合のすり合わせ

あなたが考える問題点

- 今までの話の中で、ご自身の環境で思い当たる問題点はありましたか？
- 大きな問題点があったとしたら、それは内部の問題でしょうか？それとも、外部の問題でしょうか？

やらないともっと面倒なことに…？

新しい（変わった）ことをするのが面倒だという気持ちがあるかもしれません。

ですが、それを行わないと…。

償却資産の適正な課税は、税込アップだけではなく、自分の身を守ることにもつながります。

知らず知らずのうちに昔に爆弾がセットされていて、自分の代に爆発したり、あなたが上席になって戻ってきたときに自分が仕掛けた爆弾が爆発するかもしれません。

あの時やっておけばよかった！とならないように頑張りましょう！

ご清聴ありがとうございました

やりだしてみれば、難しいことはありません。

はじめの一步は気が重いかもかもしれませんが、踏み出した後はきっと思ったよりも軽やかです。

何か困ったことがあれば、お力になれるかどうか分かりませんが、お話をいただけましたら、一緒に悩むことはできるかもしれません。

ステップアップの参考になるところは数多くあります。

ですが、最初の一步、なかなか踏み出せないところも多いのではないのでしょうか。

難しいと感じているだけで、実際は全然難しくありません。

是非、頑張ってみてください。一緒に課税の適正化を目指しましょう。